

4つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております



小手澤の森
第1・3日曜日



知足の森
第1・3日曜日



相模湖・嵐山の森
小原本陣の森
不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模

midorinodam.jp



No.623-624

2025年もいつも通り、間伐で新年の活動を開始しました

【定例活動報告】

小原でお借りしている畑の活動の報告をします。

新年相模湖駅から国道20号線を東京方面に1キロの小原宿本陣のちかくに畑を借りジャガイモ、トマト、サツマイモ等の農作物を作り皆さんに食べていただきましたが土地所有者から半分程を他に使用するので今玉ねぎが植えてある所を6月に返します。

西側と線路側は使え昨年からイタリアのNPO法人からイタリアと日本の草の根の繋がりのために農業サポートと地域の活性化を目標の為2020年日本に設立され渡辺さんが日本代表になり、葉の形がススキにそっくりの細長い

緑のダム北相模は相模原
市内で活動する森林ボラ
ンティアです。急がず、無
理せず、楽しく、休ま
ず、ボチボチと・・・



葉のレモングラス地面を這うように茂るカモミールやローズマリーなど25種類を栽培してます。

北側にはフキが自生し2月にはフキのとうが独特の芳香と苦味が好まれ味噌汁、天ぷら、ふき味噌として美味しいです。

石井 明男（本会、理事）

【定例活動報告】 知足の森

今日の午前中は通常通り森で木を伐りました。私たちのチームのところに根本が曲がっている木があって、それを伐りたかったのですが、倒すときに邪魔になりそうな別の木があったため、またその木も間伐するのにちょうど良い位置にあったため、その木を伐ることにしました。

途中、みんなでロープを引っ張る際に上のほうの枝が近くの木に引っかかってしまい引っ張るのが大変でした。私は今回木を伐っていないのですが、次伐る時は場所をよく考えて正確にできると良いなと思いました。また、処理を終えたあと、石井さんからもやし結びなど3種類の結び方を教えていただきました。有意義な時間になりました。

午後は竹林に行き、竹や低木の伐採をしました。伐ったものをウッドチップパーに入れて粉々にしていくとどんどん竹や低木がなくなっていきました。作業したのは2時間くらいですが、とても短く感じられました。鬱蒼としていた竹林がすっきりしたことに大きな達成感を覚えました。この達成感を忘れずに、次回は木を伐ることでもた味わいたいです。

原 里桜子（GTE LAB 中学1年女子）

午前はいつもと同様に間伐をしました。どのチームも順調に伐採できました。私のいたグループでは、色々なロープの結び方を教わったため、切る木、倒す方向、滑車をかける木、ロープなど全て自分たちの力で伐採することができました。いつもはどこかしらで大人のアドバイスや手助けがあるため、ほぼ全てを自分たちの力だけで行えたということにすごく達成感がありました。また、以前切って玉切りしてあった丸太を5本ほど運びました。2024年最後の回にとっても太く重い丸太を3本ほど運んだため、今回は前回程大変ではありませんでしたが、大きい板を取るのはとても大変なのだと改めて感じました。

午後はグローブ関係の物の設置をするグループと、竹が生えて整備されていない場所を整備するグループに分かれて作業を行い、私は竹林の整備をしました。初めはどこから手をつければいいのかかわからないほど荒れていましたが、人数もそこそ多く、みんな一生懸命にやっていたため整備前とは比べ物にならない程綺麗になりました。今年の活動も精一杯頑張っていきたいです。

鈴木 菜織（GTE LAB 中学2年女子）





桜井尚武の 森のコラム

「スギ(*Cryptomeria japonica*)

その1 概要」



図1 壮齢林の梢が尖る樹形
2000年頃 金峰山熊本



図2 キ樹齢400年過ぎの梢の丸い樹形
撮影日不明 清澄寺境内林 千葉



図3 スギの樹皮
20140804 早池峰神社 早池峰山岩手



図4 ウラスギ (アキタスギ)
20100301 日比谷公園



図5 オモテスギ (ヤナセスギ)
20100301 日比谷公園

スギ科の常緑針葉樹で新しい分類基準 (APG 植物分類体系) に従うとヒノキ科とされます。日本では樹高が一番高くなる種で直径も数メートルを超えるものが多く知られているように巨大になる樹種。枝や葉は密に付き樹形は幹が真っ直ぐに伸びた円錐形ですが高齢になると先端は丸みを呈するようになります (図1、2)。葉は先の尖った鎌形の針葉が螺旋状に配列し (図4、5) 枯れて茶色になっても脱落しません。樹皮は濃い茶色の繊維質で縦に細く割れて筋状に幹を覆います (図3)。雌雄同株で2~4月ごろに開花しますが最近では温暖化の影響なのか、1月頃から花粉の飛散が観察されます。花粉は桜の季節迄飛散が続き、アレルギー感受性の人々には過ごしにくい季節であり、いまでもその対策が探されていますが、いい解決方法はまだ見つかりません。現在ではスギは北海道南部から本州、四国、九州までのどこでも見られますが、このほとんどが植林されたものです。

万葉集にも”古 (いにしえ) の人の植ゑけむ杉が枝 (え) に霞たなびく春は来ぬらし”という歌があるように古い時代から各地で植えられてきたため自生地を特定するのは難しいのですが、分布地は青森県西津軽郡矢倉山を北限地とし、本州から四国、九州に分布して屋久島を南限地とするとされています。人間の助けを借りずに自生しているスギは一部の群生する生育地以外では、小面積の集団林やほかの樹種と混交して尾根筋や限られた場所に見られるだけというのが私の印象です。

スギは1属1種ですが、積雪の多い日本海側と積雪の少ない太平洋側に分布する種の違いはかつては変種とされましたが今では品種レベルの違いとされています。前者をウラスギ、後者をオモテスギといいます。ウラスギは枝が下がり気味で垂れ下がった枝が地面に着くとそこから根を発生させて新しい個体を作りやすいといいます。オモテスギには特段の特性はありません。

針葉の形がウラスギでは枝に被さる様に伸びる (図4) のに対しオモテスギは伸び伸びと針葉を広げます (図5)。これは雪が枝に着くのを防ぐように対応したウラスギと積雪の心配がなく葉を広げられるオモテスギの適応だと考えられています。

桜井 尚武 (本会、会員)

【活動報告】 小金井市公民館で小学生向けワークショップを開催

今回のスマホスタンドを作る講座の準備では、台本やスライドの最終的な完成、試作品を作る、などの重要なことが当日の週や前日にやっとできたことが大きな問題だと思います。また何かすることになったら、当日に近くなって焦って準備することなく、きちんと最初から計画を立てて、余裕を持って準備していけたらいいなと思いました。

当日では、準備段階では考えていなかったことを話す必要があったり、みんながスマホスタンドを作ることに思うより熱中していて、休憩をいつするか、宮村先生の話はいつにするかがすぐに決められなかったりなど、実際にやってみるまで必要なことやどんな状況になるかがわからないということを実感しました。しかし、みんなの進捗を見て、自分がその助けになるような行動をとることが大切だったので、周囲を見て自分がすべきことをする力が強くなったと思います。

またもう一度このような講座を開く場合は、しっかり事前にはリハーサルなどを行い、できる限り準備をして、当日も臨機応変に対応し、スムーズに進められるようにしたいです。

辻本 紗弥花 (GTE LAB 中学2年女子)



参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴 成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランティア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

NPO法人

緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人 緑のダム北相模

現地事務局：〒252-0172 相模原市緑区与瀬本町12 かどや食堂内

支援団体：セブン-イレブン記念財団

積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
パタゴニア

協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、

東京学芸大学環境教育研究センター、

(社) 東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、

(社) さがみ湖 森・モノづくり研究所



緑の募金



一般財団法人
セブン-イレブン
記念財団



SEKISUI HOUSE
MATCHING PROGRAM



楽しい森林づくり推進国民運動
www.mori-zukuri.jp